

資本計画に基づく借入に関する質問事項

有権者は、2027～2030年度資本計画に盛り込まれた主要プロジェクトの一部について、市が資金を借り入れるべきかどうかを問う3つの質問について投票を行います。

資本計画とは、市民が日々利用しているインフラや公共施設の保守・改修・拡充を支援するための4か年投資計画です。2027～2030年度資本計画では、35億ドルの資本投資が提案されています。この資金の一部、すなわち35億ドルのうち7億9,000万ドルは、有権者の承認を必要とする借入金による調達とすることが提案されています。

投票用紙には、市が資本計画の事業費用の一部を賄うために7億9,000万ドルを借り入れるべきかどうかを問う「賛成」または「反対」の3つの質問が記載されます。有権者の過半数が「賛成」に投票した場合、市議会はこれらの事業のために資金を借り入れることができます。

上記は、投票用紙に記載されている資本計画に関する借入の質問事項の概要であり、情報提供および参考のためにのみ掲載されています。これは質問事項を直接翻訳したものではなく、投票用紙に印刷されている公式の質問事項が正式なものです。

住民投票における質問事項

市議会は、住民投票における2つの質問について有権者の意見を募っています。住民投票の結果は市議会の参考情報として扱われ、法的拘束力はありません。つまり、市議会は結果に基づいて措置を講じる義務はないということです。

投票用紙には、「賛成」または「反対」で回答する2つの質問が記載されます。1つ目の質問は、特定の違法薬物の公共の場での使用を制限するための法律を強化すべきかどうかについて、有権者の意見を問うものです。2つ目の質問は、重度の薬物使用障害および精神疾患を抱える市民のための安全な治療・ケア施設の拡充を、市が州政府に要請すべきかどうかについて、有権者の意見を問うものです。

上記は、投票用紙に記載されている住民投票の質問事項の概要であり、情報提供および参考のためにのみ掲載されています。これは質問事項を直接翻訳したものではなく、投票用紙に印刷されている公式の質問事項が正式なものです。